

# 第1回県農業大賞

## 「卵明舎」など受賞

新規性や独自性の高い取り組みをしている農業者や団体などを表彰する「第1回県農業大賞」(県、JA栃

毎週日曜日。1月12日から。

五輪・パプリンピック

2020年東京大会に向け、過去の大会に出場した本県関係オリンピアンらを

紹介します。1964年東京五輪で県内を走った聖火ランナーを通して、前回大会の盛り上がりなども振り返ります。総合面。毎週月曜日。1月27日スタート予定。

木中央会、下野新聞社主催)の入賞者が24日、発表された。(11面に入賞者一覧)

大賞は農業経営の部が卵明舎(宇都宮市)、農村活性化の部はNPOげんきフォーラム桑(小山市)がそれぞれ選ばれた。新設された「芽吹き力賞」の県知事賞には農業者など3組が選ばれた。

昨年までは「県元気な農業コンクール」と題して、

農業経営の改善や農村地域の振興に尽力する団体などを表彰していた。これに今回からは、新しい着想によって一定の成果があり今後とも発展が期待される団体などを表彰する「芽吹き力賞」を加え、タイトルも変えた。農業経営の部、農村活性化

の部、芽吹き力大賞を合わせて計24点が本審査に進んだ。

鶏卵生産販売の卵明舎は、独自パッケージでの販売や洋菓子製造販売店の設立など、農業の6次産業化に取り組む。養鶏業の担い手確保のため後継者や雇用の育成にも注力している。

NPOげんきフォーラム桑は、クワとエゴマの栽培や加工販売に取り組んでいる。高齢者の雇用を創出することで地域に活力を与えている点などが評価された。

表彰式は来年2月12日に、県庁東館で行われる。

(飯田ちはる)



芳賀地区は古くから茶の湯文化を支える高級炭「菊炭」の名産地。原発事故で福島的主要産地が打撃を受け供給難が続く中、原料の